

今日のトピック アジア・オセアニアのリート市場の動向（2017年6月） 香港、豪州が下落：今後は堅調な業績が注目されよう

ポイント1 香港、オーストラリアが下落 シンガポールは横ばい

- 17年6月のアジア・オセアニアリート市場を現地通貨ベースで見ると、欧米金利が上昇するなか、シンガポール市場はほぼ横ばいでしたが、香港、オーストラリア市場は下落しました。
- 香港市場は、金融政策の連動性が高い米国が年内に中央銀行のバランスシート縮小を開始するとの見方が高まり、下落しました。
- シンガポール市場は、景気回復期待と相対的に高い利回りに支えられ、ほぼ横ばいでした。
- オーストラリア市場は、長期金利上昇やリートの配当落ちの影響から月末にかけて調整が入り、大きく下落しました。

ポイント2 円ベースはシンガポール上昇 円安がプラス寄与

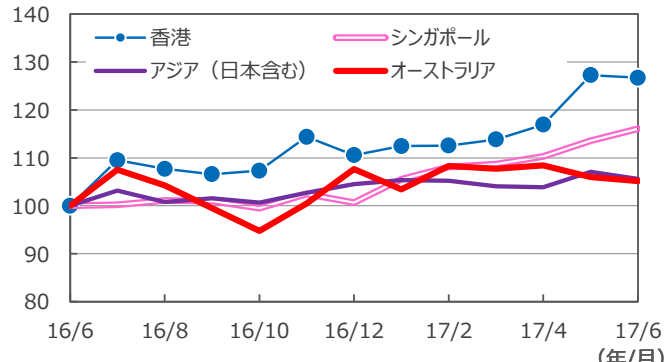
- アジア・オセアニアリート市場の6月の円ベース騰落率は、シンガポール市場が上昇、香港、オーストラリア市場は小幅下落となりました。
- 円相場は各国通貨に対して下落し、円安となったため為替効果がプラスとなりました。

【各国・地域の騰落率】

国・地域	当月騰落率		過去1年騰落率	
	現地通貨ベース	円ベース	現地通貨ベース	円ベース
香港	▲1.8%	▲0.4%	16.4%	26.7%
シンガポール	0.1%	2.2%	8.4%	16.1%
オーストラリア	▲5.2%	▲0.8%	▲6.8%	5.2%
アジア（日本含む）	▲2.0%	▲1.4%	2.6%	5.6%
グローバル	▲1.1%	1.3%	▲2.6%	6.3%

(注) データはGPRグローバル・ハイ・インカム・リート・インデックス（現地通貨ベース/円ベース）。当月騰落率は2017年6月。過去1年騰落率は、2016年6月末～2017年6月末。
(出所) GPR社のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(ポイント) 【各国・地域のインデックスの推移】



(注) データはGPRグローバル・ハイ・インカム・リート・インデックス（円ベース）。2016年6月末～2017年6月末。2016年6月末を100として指数化。
(出所) GPR社のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 堅調な業績や相対的に高い利回りが注目される

- 6月下旬以降、欧州中央銀行（ECB）の量的緩和縮小観測からドイツの長期金利が上昇し、米国を中心に世界の長期金利に波及しました。長期金利上昇を受けて、世界的にリート市場は調整しています。
- しかしながら、米国の利上げは緩やかなペースで行われると見られ、世界的に長期金利の水準が大幅に引き上がることはないと思われます。特に、経済基盤が良好なアジア・オセアニアのリート市場は、早期に金利上昇の材料が市場に織り込まれることで、堅調な業績や相対的に高い利回りに注目が移ると見られます。

ここもチェック! 2017年7月 7日 グローバル・リート市場の振り返り（2017年7月）
2017年6月 13日 アジア・オセアニアのリート市場の動向（2017年5月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。